

令和7年第2回菊池市教育委員会会議録

日時 令和7年2月17日（月）午後1時30分
場所 七城公民館 視聴覚室
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	生 田 博 隆
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育委員	岩 根 美 紀
教育部長	前 川 幸 輝
生涯学習センター長	吉 川 良 二
教育審議員	藤 田 英 明
学校教育課指導主事	清 永 邦 宏
学校教育課指導主事	信 國 正 和
学校教育課長	倉 原 桂 一（欠）
学校給食管理室長	富 田 信 幸
文化課長	坂 本 憲 昭
生涯学習課社会教育係長	中 嶋 大 樹（代）
菊池市立図書館長	松 寺 盛 親
社会体育課長	笹 本 聖 一
学校教育課課長補佐	岩 根 貴 史

17 / 18人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 報告案件
 - 報告第3号 令和6年度「熊本県学力・学習状況調査」及び「菊池市学力・学習状況調査」結果と分析について（学校教育課）
 - 報告第4号 菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況（2025年1月末現在）について（学校教育課）
 - 報告第5号 全国体力状況調査の結果について（学校教育課）
5. その他
6. 閉会
7. 教育委員会各課からの事務連絡等
 - ①行事予定について
 - ②次回の教育委員会議
令和7年3月18日（火）13:30 七城公民館視聴覚室
 - ③その他

開会

音光寺教育長 ただいまから令和7年第2回菊池市教育委員会議を開会いたします。よろしくお願い申し上げます。

それでは、会議次第に従い、会議録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和7年第1回菊池市教育委員会の会議録及び令和7年第1回臨時菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 では、異議がありませんので、令和7年第1回菊池市教育委員会の会議録及び令和7年第1回臨時菊池市教育委員会の会議録については承認することに決定します。

次に、教育長の報告を議題とします。

私より報告させていただきます。資料の1ページを御覧ください。

まず、動静についてです。

1月22日水曜日が、教育長・校長ヒアリングと菊池郡市人権同和教育研修会に参加しております。

23日木曜日が菊之池小学校に文科省の調査官がおいでになって、授業視察、講演会をしていただきました。

25日土曜日、菊池高校の探究活動の成果発表会に参加しております。

27日月曜日、児童生徒性暴力等対策連絡協議会を泗水小学校で行いました。

28日火曜日が角屋広島大学名誉教授による理科授業の指導ということで、旭志小学校の米村先生に、とてもすばらしい授業をしていただきました。

29日水曜日が旭志中学校の人権教育授業研究会に参加しております。

30日木曜日が七城中学校の地域未来塾の閉講式。

31日金曜日が菊池北小学校の研究発表会でした。委員の皆さんにも参加していただき、ありがとうございました。

2月4日火曜日が教育長・校長ヒアリング。

2月5日水曜、管内教育長校長合同会議。

2月6日木曜日が市内校長会議と戸豊水小水力発電所お披露目会に参加しております。

7日金曜日、特別支援学級の卒業生を送る会と菊池高校の学校運営協議会がありました。

8日土曜日が少年少女発明クラブの閉講式を行いました。本年度、出席率がとてもよくて、8割以上の生徒さんばかりで、来年度も同じように引き続きやりたいと考えているところです。

10日月曜日が第4回教育支援委員会とキクロスカレッジ運営委員会を行っております。

12日水曜日が市長記者会見。

1 3 日木曜日、特別支援教育連携協議会。

1 4 日金曜日が菊池市奨学金選考委員会。それから、子ども伝統芸能祭を本年度初めて行いました。子供たちの日頃の学習成果を発表して、とてもいい会が行われたと思います。また、スクールサポートチームの会議、それと菊池北中学校の未来塾の閉講式が行われています。

1 5 日土曜日はキクロスまつりで、親子連れの方がとても多くて、会場がいっぱいになるような大盛況でした。

1 6 日日曜日が白龍旗中学生剣道大会。九州各県より 9 6 チーム参加していただきまして、大きな大会を開くことができいております。

1 7 日月曜日、教育委員会議と、この後万句のふるさと表彰式です。

2 番目に市内小中学校長会議での連絡事項についてです。

はじめにというところで、国連を支える世界こども未来会議×くまモン記者団というコラボの取組がありまして、小学校 4 年生、5 年生を、SDG s を推進している地域から集めて、まちづくりについてのプレゼンを行っていくという県が行っている大会があるんですけど、それに菊池市の子供たち 5 名が参加しました。その中の泗水西小学校の 4 年生の平井さんがベストジャーナリスト賞準グランプリに輝きまして、来年の大阪万博に子供の記者として参加するということが決定しております。とてもすばらしい名誉な賞に輝いております。

それと、第 3 回「友だちに薦めたいこの 1 冊コンクール」で、これは東京応化工業が主催されているんですけど、この前理事長に講演いただきまして、そのときに募集がありまして、それに応募した泗水小学校 4 年生の本郷君が東京応化工業社長賞を受賞しまして、今度、神奈川県で行われる表彰式に親子で招待をされております。とても名誉なことです。

それと、くまもとハートウィーク「障害者週間のポスター」の中学生の部で、熊本県の最優秀賞に「明るい社会をパズルに込めて」ということで、泗水中学校 2 年生の瀬崎さんが最優秀賞に輝いております。

それと、令和 6 年度くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰ということで、特別賞に菊池北中学校の 2 年生の染原君が、狂言ですね、伝統文化の継承で授賞式にも参加しております。県の教育長から表彰されております。入賞に菊池南中学校の地域活動委員会、花房小学校の 4、5、6 年生が伝統文化の継承、花房の獅子舞いが表彰されております。里仁賞に泗水小学校の 5 年生の児童 3 名が、勇気・思いやりのある行動ということで表彰されております。

次に、人事評価につきまして、期末面談で先生方に、認め励まし伸ばす指導をお願いしますと言っております。

連絡事項につきまして、まず、人事異動がもう最終段階に入っているということで、ハスハスの学級に要注意。ちょうどぎりぎりの学級ですね、1 人増えればクラスが増えるというような学級が今回幾つもありまして、そういったところは子供の数に注意するようにお願いしております。

それと、安心、安全の学校づくりのためにというところで、おかげでインフルエンザの学級閉鎖は、1 月はあっておりません。2 月もゼロです。学校の取組に

感謝しているところですけど、コロナが少し見受けられますので、コロナ対策も注意喚起をしているところです。

次に、学力向上につきましては、熊本県の学力・学習状況調査と市学力・学習状況調査が12月に行われまして、その結果が分かりましたので話をしております。詳しいことは、この後、指導主事から報告がありますけれど、小学校は全国平均を超えていて、取組の成果が出てきていると思います。中学校の1年生は全国平均に近いですけど、中2は課題が残っているというようなところで、早急な対応が必要だということをお話しています。それと、早期の課題解決を図るために、やはり学習習慣、生活習慣を確立する必要があると話しております。

次に、基礎基本の定着でプロジェクトチームを立ち上げて行っていますけれど、その成果としまして、40%未満の児童が減少しているということ。ただ、計算力が100%になっていない子供さんもいますので、3月末までにマスターできるようにしていただきたい。できなかった問題を再度解かせて、できるようになるまで繰り返し指導をお願いしているところです。

次に、いじめ・不登校対策についてですけど、不登校児童、不登校傾向の児童生徒ですね、心のアンケートからいじめの認知がありましたので、組織的な対応を早急に行うということをお願いしております。

それと、もう一つ気になったのが、やはり菊池市の子供たち、約9割近くが学校が楽しいと答えていますけれど、各学校、ほんの数名ですけど、楽しくないと答えている児童生徒がおりましたので、その子に対する早急な対応が必要だと。その原因が学校にあるのか、家庭にあるのか、友達関係にあるのかなど、そういったことを早めに把握して対応していただくようお願いしております。次年度、校内支援センターを拡充したいということで話をしております。

次に、人権教育につきましては、各学校で総括を行う。人権教育主任については、年度内に話し合いをするようにということで話をしております。

次に、教職員の不祥事防止につきましても、今月大きい不祥事案が県立高校、義務制で起きておりますので、再度啓発、研修等を行うようお願いしております。

幼稚園・保育園の連携につきましては、連携カリキュラムの作成を来年度に向けてやっていきたいということをお話しております。

教職員の部活動のアンケートのお礼、それと、後で担当からありますけれど、菊池市の小中学生の60運動について通知をするということで話をしております。

次に、今後の予定ですけど、18日火曜日が庁議、それと地域と学校の連携協働体制構築委員会が県庁ので開かれますので、そこに参加をします。

19日水曜日が市議会の開会と西留安雄先生が19日から20日まで指導していただきます。今度は七城小学校と菊之池小学校を指導していただきます。19日には、先生方を対象に研修会を行う予定です。

20日木曜日が市のPTA連絡協議会の新旧役員会に参加いたします。

21日金曜日が教頭会議、それと台南市東区より視察が予定されております。

今回、部活動の様子を見たいということで、泗水中学校を見ていただくように予定しています。

20日土曜日が泗水西小学校の創立150周年記念式典。

23日が熊本県女子剣道大会。

25日火曜日が市議会の予算決算常任委員会。

26日水曜日が市議会の一般質問、28日まで行う予定です。

3月1日が県立高校の卒業式。

2日日曜日が菊池女子高校の卒業式、それから、老人クラブの芸能大会が入っています。

3日が市議会の一般質問。

4日が市議会の常任委員会、予算決算の分科会が6日まであります。

7日金曜日が市内の中学校の卒業証書授与式。

9日日曜日が鞠智城跡特別研究成果発表会が熊大で行われます。

10日月曜日が市議会の常任委員会、予算決算分科会。

11日火曜日が市内小中学校長会議と社会教育委員会議。

13日木曜日が人権教育主任研修会。

14日金曜日が市議会の予算決算常任委員会とESDティチャープログラムの認定証授与式。

16日がきくち桜マラソン大会ときくち音楽まつりが行われます。

18日が庁議と菊池市教育委員会議と教育論文の表彰式が予定されております。

以上で私の報告を終わります。何か御質問等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、ないようですので、これで教育長の報告については終わります。

それでは、報告案件に入ります。

報告第3号、令和6年度「熊本県学力・学習状況調査」及び「菊池市学力・学習状況調査」結果と分析について、事務局より説明をお願いします。

清永指導主事。

清永学校教育課指導主事 それでは、令和6年12月に実施しました熊本県学力・学習状況調査及び菊池市学力・学習状況調査の結果についてお伝えします。

両調査は同時期に実施しましたが、県学力調査として実施したものは、小学校3年生から中学校2年生の国語、算数、数学、そして中学校の英語です。小学校1、2年生の国語や算数、他学年の社会、理科は市の学力調査として行いました。委員の皆様へ配付したA4カラー版の資料は概要版ですので、後ほど御確認ください。

それでは、調査結果資料の2ページを御覧ください。

教科に関する調査の結果概要、正答率と、同じ児童生徒の1年前や4月段階と

の変化を示す経年変化を掲載しています。

まず、小学校です。オレンジ色で示しているように、国語は、6年以外、正答率が全国平均を上回りました。算数は全ての学年で全国平均を上回りました。3年の国語と5年の算数は県平均も上回っています。また、国語、算数とも4月に実施した市の学力調査に比べて伸びが見られています。特に6年の算数は4月の調査より4.6ポイントの伸びが見られました。社会では3年と5年が、理科では3年と4年が全国平均を上回りました。社会では、1年前に実施した県の学力調査より伸びが見られております。

中学校では、多くの教科が全国平均や県平均に届かなかったものの、1年の英語が県平均を超えています。経年変化を見ますと、1年前の県の調査や4月の市の調査より全体的にマイナス傾向となっております。しかし、2年の数学を見ますと、僅かではありますが4月の調査より上回っておりまして、学習内容が難しくなる中、生徒が力をつけていっていると捉えることもできます。

4ページから5ページを御覧ください。

正答率40%未満の児童生徒出現率と経年変化について記載をしております。

小学校、中学校とも一定の割合で正答率40%未満の児童生徒が見られますが、特に学習内容が難しくなる中学校では、その割合が高くなっております。経年変化を示す人数比較で見ますと、マイナスがついている教科は昨年度より正答率40%未満の人数が減ったことを示しています。小学校の5年国語や6年算数は、昨年度の調査より人数が少なくなっていることが分かります。中学校では、1年の数学で小学校6年生のときより大きく人数が増えておりまして、改善すべき点であると考えております。

6ページから8ページにかけましては、各教科の成果と課題を載せております。ここに載せておりますのは市全体の傾向ですので、各学校での分析が必要となるものです。

全体的に基礎的、基本的な学習事項についての課題も見られましたので、先週実施しました市の研究主任会では、授業の中で知識を確実に定着させる時間の確保をお願いしたところでした。

9ページを御覧ください。

課題の改善に向けた重点指標についてです。これは熊本県教育委員会が、向上を目指す指標として示したもので、大きく3点ございます。

児童生徒質問紙の結果にて御説明します。

指標1は主体的な学びに関するもので、令和6年度の欄を御覧いただくと、7割を超える小学生と6割を超える中学生が課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいると回答しています。

指標2は発表に関するもので、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると回答したのは、小学生の6割、中学生の5割台です。これは県平均よりやや低い結果でした。それぞれ経年変化を見ますと小学校6年生での伸びが見られます。また、中学校2年生でも伸びが見られ、各学校での授業改善の成果が現れていると考えています。

10ページを御覧ください。

各教科の学習について分かると回答している割合です。教科の理解は、全体的に学年が上がるにつれて分かる割合が低くなる傾向にあります。経年変化を見ると、特に算数、数学でマイナスとなっていますが、小学校6年生はプラス5.9ポイントと向上しています。

英語の分かると回答した割合ですが、中学校1年生の結果は、経年変化ではマイナスになっていますが、分かるというふうに肯定的に回答した割合は菊池管内の平均を上回っておりました。英語が分かると実感できる生徒が1人でも多く増えることを願っているところです。

11ページを御覧ください。

ここからは菊池市の取組に関する項目です。

教え合う時間、話し合う時間、協働学習のよさへの気づきについてですが、教え合いや話し合いには、おおむね9割を超える児童生徒が肯定的に回答しています。しかし、③の協働学習により勉強が面白いと感じている児童は6割台となっています。友達との学び合いを通じて勉強の面白さを児童生徒が感じることも、授業改善の視点になることを研究主任会では話題にしました。

12ページは予習・復習と学級風土についてです。

学校の授業の予習や復習をしている児童生徒は5割前後でした。小学校4年生の肯定率に県平均との差が5ポイント以上見られ、小学生段階で家庭学習の習慣を身につけさせたいところです。学級風土は学校での学びの基盤となるものですので、各学校での分析をお願いしています。

続いて、一番下の資料は生活習慣に関する項目です。

朝食は9割近くの児童生徒がしっかり食べていると肯定的に回答していました。

13ページに移り、平日の就寝時刻についてです。

児童生徒はおおむね10時前後に就寝しており、中学1年生を除き県平均と同程度でした。しかし、12時頃、12時過ぎのみに着目すると、全ての学年で県平均よりやや高い結果でした。平日のメディアとの接点は2時間くらいが最も多い回答でした。おおむね県平均と同様の傾向ですが、60分以上メディアと接点を持っている児童生徒に着目すると、県平均より多くなっていました。

14ページを御覧ください。

①は児童生徒の学習習慣についての項目です。学校の授業以外での学習頻度は、ほぼ毎日勉強している割合が一番高い結果でした。しかし、中学2年生は、ほとんどしないが一番多い結果となっていました。紙面の中ほどで示す表のように、ほぼ毎日するだけに着目すると、菊池市の中学校1年生が肯定的に回答した割合は県平均を超えていました。

②のやり直しも、菊池市の1年生は県の平均より高い割合で肯定的に回答していることが分かりました。

15ページは平日と休日の学習時間についてです。

平日、休日ともに30分から1時間くらいの学習時間が多くなっていました。

もっと長く学習している児童生徒もおり、平日でも2時間以上学習している児童生徒も見られます。その一方で、中学2年生で全くしない割合が高くなっており、週の学習頻度と同様に改善が必要だと考えております。

16ページを御覧ください。

教科を好きと答える割合ですが、六、七割前後の肯定率となっていました。教科や学年によって差がありますが、難しさを感じる教科は低い傾向にあるようです。そのような中、中学校英語では肯定率が県平均を超えております。これはこれまでの調査でも同様の傾向にあり、授業改善やイングリッシュデイキャンプ、真のコミュニケーションが生じるALTの活用等による効果だと考えています。

最後に、17ページと18ページは教師への質問項目です。

全体的に中学校で様々な活動や生徒の見とりについての意識が高まっている結果でした。一方、小学校での家庭学習に対する意識や授業でめあてやねらいを示したり、児童から引き出したりすることについて、課題も見られる結果でした。

本年度、菊池市では、基礎学力の向上、授業力の向上、家庭学習の充実の3本柱で取組を進めております。学力調査の結果を受けまして、フォローアップドリルの活用や学校での分析と、それに基づいた実践、家庭との連携について各学校へお願いをしているところです。さらに、規則正しい学習、生活習慣の定着を目指し、後ほど担当が説明しますが、60運動にも取り組んでまいります。

今後とも確かな学力の育成に向けて取り組んでいくところです。

以上で報告を終わります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告に質問、御意見等はございませんでしょうか。
増永委員。

増永委員 学力の状況について、これまで小学校から中学校に上がる時の中1ギャップについていろいろな形で論議されて、気になってきたところですが、今年度の結果を見ると、1年生よりも2年生にどうも課題があるかなと思うんですが、昨年とかおととのデータからすると、こういう傾向があったんでしょうか。今年だけなのか例年そうだったのか、もし分かれば、分かっている範囲でいいですので、お答えいただければと思います。

清永学校教育課指導主事 お答えします。

数値的なものをここに今持ち合わせていなかったんですが、やはり学年が上がるにつれて定着率というものは低くなっていく傾向にあります。中学校2年生のほうがやはり学力的にはもっと定着してほしいというところもありました。ただ、経年変化で見ていったときに、今、数値的には上げられないんですけども、中学校1年生から2年生になったときの調査結果がもう少し下がってしまうところもあったかもしれない中、ぐっと下がるのではなく、ある程度力をつけて、下がる度合いがあまり行かないようにというような、ちょっと見方を変えると、そういう側面もあるのかなと思っていますところですが、2年生の定着に課題がある

というのは、例年同じような感じになっております。

増永委員

ありがとうございました。

全国平均とか県の平均の状況を見ても、1年生よりもやはり2年生が下がっている状況にありますので、菊池市だけの問題ではないだろうとは想像するところですが、やはりこここのところ、学年が上がるにつれて中学生の数値が下がっているということについて、その原因なりの分析、あるいはその対策と申しますか、そういったところを実際には学校のほうでしっかり検討していただくしかない。全ての学校がこの状況ではない可能性もありますので、そのところを今後検討していただければと思います。

以上です。

音光寺教育長

貴重な御意見ありがとうございます。

特に中学校2年生で下がっている大きな原因は、子供たちのアンケートからも、日頃全く勉強しないという割合があまりにも高過ぎる。学習習慣ができてないというのが大きな原因じゃないかなと思っているところです。

ほかにございませんでしょうか。

先ほどありました、60運動で、その辺のところをどう改善していくかということをご提案いたしますので、よろしくお願ひします。

では、よろしいですかね。

委員一同

なし

音光寺教育長

では、次に、報告4、菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況について、事務局より説明をお願いします。

信國指導主事。

信國学校教育課指導主事

それでは、お手元の資料の19ページを御覧ください。

菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況でございます。

1段目のグラフは不登校及び不登校傾向のグラフとなります。30日以上の不登校児童生徒は、1月末現在、小学校68名、中学校135名の計203名です。昨年度の同月と比べ6名多い状況になります。市内の全児童生徒数の5.5%に相当する数です。203名のうち125名が昨年度も不登校でした。

また、10日以上30日未満欠席しております不登校傾向の児童生徒は、小学生36名、中学生30名で、合計66名となっており、昨年度の同月と比べ46名減少している状況です。

また、次の1月のいじめの類型報告は、小学校2件、中学校3件でございます。

12月に新規で上がりました小学校のいじめ事案につきましては、学校において事実確認及び教育相談等を組織的に行い、現在終息し児童の様子を見守っている状況との報告を受けております。

また、この新規以外の4件の事案につきましては、既に解消しているとの報告を受けています。

続きまして、教育支援センター各教室の利用状況です。

1月末現在で24名が利用しております。内訳は小学校3年生が1名、5年生2名、6年生2名、中学校1年生7名、2年生3名、3年生9名となっております。特に今年度泗水中学校に校内教育支援センターを設置したことで、中学校3年生の利用者が多くなっているところです。これまで完全不登校だった生徒が、そこで学習を継続しており、既に進路を決定した生徒もいるとの報告を受けているところです。

資料の20ページを御覧ください。

それぞれの教室の相談件数と相談内容の内訳を載せております。

4教室の1月の相談件数は、菊池教室52件、七城教室13件、泗水教室62件、泗水中校内教育支援センター88件で、合計215件の相談等がありました。

泗水教室の相談件数が前月より増加しております。その要因としましては、小学生の体験通勤などの利用や相談が増加していること。それに加えまして、中学生の進路選択の時期と重なるためだと考えております。各教室児童生徒の個々の状況に合わせ、支援を継続しているところです。

資料の21から22ページを御覧ください。

続きまして、心の教室相談の利用状況です。

1月の心の教室相談件数は、菊池北中2件、菊池南中56件、七城中10件、旭志中22件、泗水中81件で、合計171件となっております。相談内容としては、これまでと同様に不登校や友人関係に関わるものが多く見られました。

資料の22ページの4段目のグラフは菊池市のスクールソーシャルワーカーへの相談件数となります。1月は75件の相談でした。前回の報告同様に、不登校と家庭の状況に関する相談が多く、主に学校からの要請に基づいて巡回支援を行ったところです。

最後に資料23ページを御覧ください。

学校支援コーディネーターの相談対応件数は55件となります。こちらも同様に不登校と家庭の状況に関する相談が多く、関係の専門機関との連携、調整を積極的に進めているところです。

報告は以上となります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告に何か御質問、御意見等ございませんでしょうか。

不登校傾向が、先ほどあったように昨年より46名マイナスというところは、その要因等も教えていただいてもいいですか。

信國学校教育課指導主事 こちらの46名減少というところで主な減少を占めているところが南中学校校区になります。こちらは、心の健康観察といたしまして、1人1台端末で簡単な健康観察を行っているところです。週に1回、心の聴取を合計7問答えまして、それを学校がピックアップしております。そこでスコアが悪かった子

供に関しては、面談を行ったり、より詳しく要因分析をするというところで、これまでしていた心の問診票というものを重ねて実施しまして対応しているところでございます。

この心の健康観察の実施によって、結果的にこの不登校傾向の児童、いわゆるこのような未然防止に直接つながっているという結果に結びついているところでございます。

生田教育長職務代理者 ほかの中学校ではどうですか。いい効果が出ているのであれば。ほかの中学校での取組、計画はどうありますか。

信國学校教育課指導主事 ありがとうございます。

南中学校校区で、今年度このような非常に素晴らしい結果が出ておりますので、来年度はぜひ全市内の小中学校で実施というところで考えております。

音光寺教育長 今年度、大きな取組として、泗水中学校の校内支援センター、南中校区におきましてタブレット端末を使った心の健康調査をやりまして、泗水中でも、先ほど報告がありましたように、来られるようになった生徒さんが出てきたということです。泗水中も不登校傾向は減ったんですか。

信國学校教育課指導主事 不登校傾向よりも不登校の生徒が減っております。加えて、特にその中でも新規で不登校になる子供たちの数が減っているという結果を得ております。

音光寺教育長 生田委員。

生田教育長職務代理者 来年度の校内支援センターは、これも全校で実施ですか。

信國学校教育課指導主事 来年度の計画の方向性としましては、全部の中学校に校内教育支援センターという形を移行しよう、拡充しようと考えております。

ただ、人的な配置の面もございますので、現在、各中学校にございます心の教室相談員の方々を活用しながら、そういった校内教育支援センターという形で成り立たないかというところで計画をしているところでございます。

生田教育長職務代理者 ありがとうございます。

音光寺教育長 ほかに御質問等ございませんか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、次に、報告第5号、全国体力状況調査の結果についてを事務局より説明

をお願いします。
信國指導主事。

信國学校教育課指導主事 それでは、お手元の別冊資料を御覧ください。

令和6年度全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果概要について御説明いたします。

別冊資料の1、2ページを御覧ください。

こちらに小学校、中学校別に概要を整理しておりますので、これらに基づき説明をしていきたいと思っております。

初めに、小学校の調査結果について説明いたします。

まず、体格についてです。資料の4ページを御覧ください。

男子の身長は全国と比べて大きな差はございませんが、体重は36.5キログラムと全国、県よりやや高く、肥満傾向児童も18.8%と全国、県よりやや高い状況です。女子は身長、体重は全国と比べ大きな差はございませんが、軽度肥満を含めた肥満傾向児童は全国、県よりやや高い状況です。

次に、実技についてです。資料の5、6ページを御覧ください。

男子は実技8種目中6種目が全国を上回っております。総合評価Eの割合が8.8%で、全国、県よりやや低い状況です。女子は実技8種目中4種目が全国を上回っております。

次に、意識調査についてです。特徴がある指標を抜粋して御説明いたします。

資料の13ページを御覧ください。

一番上のグラフになりますが、男子は地域のスポーツクラブに入っている割合が70.7%と全国や県よりやや高い状況です。

次に、資料の14ページを御覧ください。

一番上の女子は、朝食を毎日食べる割合が76.9%と全国や県よりやや低い状況です。さらに、平日のスマートフォン等の時間が3時間以上と答えた割合が、男子が44.7%、女子が38.2%と全国と同様に高い状況が続いております。

次に、中学校の調査結果について説明いたします。

まず、体格についてです。資料の25ページを御覧ください。

中学校の調査結果、中学校現在の2年生についての調査結果になります。

まず、体格についてです。

男子の身長、体重ともに全国と比べ大きな差はありませんでしたが、身長がやや低い状況です。女子は身長、体重ともに全国を上回り、軽度肥満を含めた肥満傾向児童は10%と全国よりやや高い状況です。

次に、実技についてです。資料の26、27ページを御覧ください。

男子は実技8種目中7種目が全国を上回っており、特に総合評価A、Bの割合が42.2%と全国、県よりもやや高い状況です。女子は実技8種目中の全ての種目が全国を上回っております。昨年と比較して改善傾向にあります。総合評価A、Bの割合が63.1%と全国や県より高く、特に総合評価Aの割合が36.9%と全国より高い状況です。

次に、意識調査についてです。これも小学校と同様に特徴がある指標を抜粋して説明いたします。資料の37ページを御覧ください。

一番上の項目になりますが、平日に3時間以上スマホ等を見ている生徒の割合は、男女ともに全国よりやや低い状況でございますが、その数値は昨年度と比較しても、この割合は増加しているというような状況です。

37ページの上から2番目の項目につきましても、男女ともに保健体育の授業が楽しいと回答した生徒の割合が全国や県より低いというような状況になります。

結果の概要の報告に関しましては、以上となります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について質疑及び御意見等はございませんでしょうか。

昨年度が、中学校の女子が全国よりも低かったんですね。今年は改善されて、全国よりもよくなっている。おかげで小中ともに全国よりも、小学校5年生と中学校2年生の結果ですけれども、全国よりもよかったという傾向になっております。

ただ、肥満の子が全国よりも多くなっているというのが気になります。二極化しているなというのが感じているところです。

何かありますか。

渡邊委員

中学校2年生というか、学力の結果は低かったけれど、体力はあるということだから、その体力を使ってやっぱり勉強するというか、そういう活動をやっている、60運動とかもあるんでしょうけど、勉強するにも体力がないとできないと思いますから、体力がこれだけあれば、勉強する時間が短いみたいですから、家の中でもやればできるんじゃないかと思います。

以上です。

音光寺教育長 ほかに御意見等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、その他に入ります。

事務局から何かありますでしょうか。

信國指導主事。

信國学校教育課指導主事 それでは、もう一つ別冊のほうの菊池市小中60運動の御協力についてお願いという文書を御覧ください。

先ほどよりお話がっております60運動についてというところでございます。校長会、そして市P連とも連携してこれをやっという御協力を保護者様に宛て連絡したところでございます。

先ほども、学力・学習状況調査、そして全国の運動能力・運動習慣等の調査の

結果からも出ておりました。やはりスマホ等の使用時間が長く、就寝時間等が遅いと言われるところです。いわゆる習慣づけのところがやはり弱いんじゃないかと懸念しているところがございます。そちらを、目標をきちんとはつきりさせた上で、全体として取り組んでいく必要があるのではないかとこのところ、今回60運動を提案したところがございます。

2枚目を御覧ください。

具体的には、どのような姿を目指していくのかというところがございます。

60というのは、基本的にこの数字の目標値ということで上げています。1日60分の運動をしましょう。また、家を出る60分前には起床をしましょう。そして、就寝する60分前までにはスマホ等をもうおうちの人に預けましょう。また、その使用時間に関しても60分までとしましょうということです。

さらには、家族との会話を1日60分間はしましょう。会話というのも限定、話をするだけではなく、音読を聞いてもらうとか、教科書を読むのを聞いていただくとか、そういったコミュニケーションの時間を60分持ちましょうという形です。

家庭学習に関しましては、これまでございました学年掛ける10分プラス10分、家庭での学習時間を確保しましょうというところで動こうと考えております。

こちらが、中3が60分、これを全てできるようになるというのが最終的なイメージとしまして、小学校から段階的にこちらを目指してやっていきたいと思いますというところを考えている結果が、一番最後のカラー刷りのプリントになります。

菊池市小中60運動ということで、御家庭で協力をしながら、この姿を求めていくというところを60運動として動いていこうと考えているところがございます。

こちらに関しましては、さらに幼稚園、保育園等にも周知いたしまして、菊池の子供、幼稚園、保育園の子供たちから中学生まで、幼保小中連携を生かして、こちらをベースにしながら連携カリキュラム化していこうと考えております。

御報告は以上になります。

音光寺教育長 この件につきましても、今度、市P連の新旧役員会がありますので、その会でも私から話をして協力をお願いするというふうにしております。

教育委員さん方のバックアップをぜひよろしくお願いいたします。

ほかにはありませんか。

事務局 事務局からはありません。

音光寺教育長 それでは、本日の委員会はこれで閉会いたします。

お疲れさまでした。

— 了 —